

科目名 Course Name	介護過程 I Process Planning for Care Work I			ナンバリング No.	J2-009		
年次	1年	期別	後期	単位数	1	授業形態	演習
担当者氏名	久保 由佳						
連絡方法	C-Learning で対応。または福祉棟 2F 研究室。オフィスアワーは授業担当時間以外。						
必修/選択	選択(介護福祉士養成課程必修)						
関連 DP	DP1, DP3, DP5						
授業の概要と到達目標	<p>介護過程は、学んだ知識・技術を統合し、利用者個々のニーズを的確に把握して、求められる支援を導き実践する思考過程である。介護過程 I では、その思考過程が可能となるような、基本的な能力を養うことを目的とする。介護過程の意義や目的をふまえ、利用者の情報収集から計画立案、実施、評価、修正に至る一連の流れを理解できるように取り組む。</p> <p>①介護過程を行う目的を、説明できるようにする。                  ②介護過程の構成要素と、各段階で行う具体的内容が列挙できるようにする。                  ③利用者個々のニーズを把握するための、情報収集の内容と方法を説明できるようにする。                  ④利用者の視点での、目標が設定でき、具体的な計画を立案できるようにする。</p>						
授業の方法	介護過程の目的、構成要素について理解し、事例をもとに情報収集から実施・評価までの一連の流れを展開することで、「介護過程に沿った考え方」を学ぶ。情報収集の方法や、実施時の留意点を考えながら、一人でも介護過程の展開ができるように課題解決型学習を進める。						
学習成果	L01						
	L02	介護過程の一連の流れ(アセスメントから評価・修正)を説明することができる。					
	L03	紙上事例を用いて、利用者個々のニーズに合った計画を一人で立案することができる。					
	L04						
課題に対するフィードバック	紙上事例を用いて計画立案までを行う中で、適宜課題の提出を課す。課題は添削し学生に指導後返却する。						
教科書/参考図書	最新・介護福祉士養成講座 第9巻「介護過程」中央法規出版						
履修上の留意点やルール等	●講義・演習ともに積極的に参加すること。●課題の提出を繰り返し行うので、期限を厳守して提出すること。●教材以外のものは机の上に置かない。●事前・事後学習に費やすべき時間の目安は各回 45 分とする。						
担当教員の実務経験							

成績評価の方法と基準					
評価の領域	評価基準	学習成果の割合			
		L01	L02	L03	L04
授業参加態度	S 評価は、使用する教材を準備し、必要なことはノートにとっていること。授業に集中し、積極的に取り組んでいること。		20		
レポート/作品	【課題①②③】介護過程の練習課題で評価する。S 評価は、情報の分類が適切であり、情報をもとに分析・解釈が十分に行われ、ニーズ・課題の表現が適切である。学習した内容を参考に計画を立案していること。 【課題④】紙上事例による介護過程の展開を課題とし、「情報」「分析・解釈」「ニーズ・課題」「目標」「計画」の各構成要素の内容を評価する。S 評価は、各構成要素が十分に考えられ、基本通りに記載できていること。		20	60	
発表					
小テスト					
試験					
その他					
合計			40	60	

回数		授業計画
1	授業内容	ガイダンス(シラバスにそって授業概要、授業の目標と学習の成果、評価方法等の説明) 介護過程とは何か 【講義】
	事前・事後学習	自分の生活で困っていること(課題)は何かを考え、ノートに書き出す。
2	授業内容	介護過程の意義・目的、介護過程の理解①(アセスメント) 【講義】
	事前・事後学習	テキスト P2～22 を読む。介護過程の一連の流れとアセスメントに関する内容をノートにまとめる。
3	授業内容	介護過程の理解②(介護計画の立案、実施、評価) 【講義・グループディスカッション】
	事前・事後学習	介護計画の立案から評価までの内容を説明できるようノートにまとめる。
4	授業内容	アセスメント① 情報とは 観察とは 【講義】
	事前・事後学習	テキスト P38～45 を読む。授業の内容をノートにまとめる。家族や友人に協力していただき、情報収集(他者の観察)を行い、得られた情報をノートに書く。
5	授業内容	アセスメント② 情報整理 アセスメント1・2の記入 【個人ワーク】
	事前・事後学習	授業で終わらなかったアセスメント1・2の記入を行う。
6	授業内容	アセスメント③ 情報整理 ICFの枠組みに沿った情報の整理 <課題提出①> 【個人ワーク】
	事前・事後学習	情報をICFの枠組みに沿って分類する。アセスメント3(情報まで)を記入する。
7	授業内容	アセスメント④ 情報の分析・解釈・統合 【講義】
	事前・事後学習	テキスト P48～55 を読む。授業の内容をノートにまとめる。情報を分析・解釈・統合する視点(枠組み)を覚える。
8	授業内容	アセスメント⑤ 情報の分析・解釈・統合 情報の関連付けと統合 【個人ワーク】
	事前・事後学習	情報の統合用紙を記入する。記入例を読み返す。
9	授業内容	アセスメント⑥ 情報の分析・解釈・統合 <課題提出②> 【個人ワーク】
	事前・事後学習	情報の統合用紙に記入した内容をもとに、分析・解釈・統合の文章を完成させる。アセスメント3(分析・解釈・統合)を記入する。
10	授業内容	アセスメント⑦ ニーズ・課題の抽出 【講義・個人ワーク】
	事前・事後学習	テキスト P55～61 を読む。複数のニーズ・課題を考え、アセスメント 3(ニーズ・課題)を記入する。
11	授業内容	介護計画の立案、実施・評価とは 【講義】
	事前・事後学習	テキスト P65～87 を読む。授業の内容をノートにまとめる。
12	授業内容	計画立案(目標、具体策) <課題提出③> 【個人ワーク】
	事前・事後学習	目標と具体策を考え、計画を完成させる。援助計画用紙を記入する。
13	授業内容	グループディスカッションによる検討 【グループディスカッション】
	事前・事後学習	自分が展開した介護過程の内容を振り返り、よりよい介護実践のための方法を考え、アセスメントや援助計画用紙を修正する。これまでに学習した介護過程の展開プロセスについて、テキストやノート、配布資料を読み返す。
14	授業内容	事例による介護過程の展開① アセスメント 【個人ワーク】
	事前・事後学習	事例をよく読む。事例をもとに、アセスメント1～3を記入する。
15	授業内容	事例による介護過程の展開② 計画立案 <課題提出④ 提出期限は授業で指示する> 【個人ワーク】
	事前・事後学習	期限内に課題が提出できるよう、計画までを考え、援助計画用紙を記入する。